

東北大会も優勝狙う 八学大女子サッカー部



県大会優勝を小林眞市長(前列中央)に報告した八戸学院大女子サッカー部の選手ら

県大会V、市長に報告

八戸

8月26、27日に行われた青森県女子サッカー選手権秋季大会(県サッカー協会主催)で初優勝した八戸学院大女子サッカー部の選手19人と畑中孝太監督らが4日、八戸市庁を訪れ、小林眞市長に優勝した喜びと、東北大会へ向けての抱負を語った。

同部は初戦の2回戦と準々決勝を大差で圧勝。決勝では2連覇中だった弘前市のSHRINE L.F.C.を延長戦で下し、創部4年目で大会を制した。小林市長は「全国レベルのチームになっている。東北大会でも頑

張って」と激励した。ゲームキャプテンを務めた3年の妻神和選手は決勝を振り返り、「持ち味は出せたが、決定力がなかった」と肩を落とすが、「逆に課題が見つかった」と前向きに話した。

今大会はけがで出場できなかったという、同じくゲームキャプテンの3年成田愛選手は「東北大会では2人でチームに良い雰囲気をつくって優勝したい」と闘志を燃やしていた。

東北大会は23、24日に八戸市のダイハツスタジアムで開催され、上位3チームが全国大会へ進出する。(中山瑞希)